

中華民國代表汪行政院院長閣下ノ一般的所見（翻譯）

（十一月五日）

世界史上偉大ナル意義ヲ有スル大東亞會議ガ、本日盟邦日本ノ首都ニ於テ舉行セラル、コトニナリマシテ、只今東條總理大臣閣下ノ演說ヲ拜聽シ、大イニ感奮致シタ次第デアリマス。

米英ノ東亞侵略ハ、百年以前ニ既ニ開始セラレタノデアリマシテ、今ヤ斯カル極メテ重大ナル時期ニ於キマシテ、日本ノ軍事力及ビ政治、經濟、文化、各方面ノ力ニ賴リテコソ、始メテ克ク米英ノ侵略野心ヲ抑制シ、東亞ヲ保全シ、米英ヲシテ割據セシメザルコトガ出來ルノデアリマス、最近更ニ大東亞戰爭勃發シ、米英ノ東亞ニ於ケル侵略勢力ハ破碎セラレ、東太平洋及ビ南洋一帯ニ於ケル米英ノ陸海軍根據地ハ、漸次日本陸海軍ノ擊破、占領スル所トナツタノデアリマス、日本ハ更ニ一步ヲ進メ、東方道義精神ニ基キ東亞諸國家諸民族ノ共存共榮ヲ圖リ、其ノ獨立自主ヲ援助シ、其ノ愛國的希望ヲ達成セシメ、之ヲシテ各々其ノ部署ニ就カシメ、各々其ノ最大ノ努力ヲ盡サシメ、大東亞戰爭完遂竝ニ大東亞建設ノ完成ノ責任ヲ分擔セシムルコトトナツタノデアリマス、私ハ斯カル日本ノ崇高ニシテ偉大ナル抱負及ビ其ノ光輝アル實績ニ對シ、茲ニ謹ンデ最大ノ敬意ヲ表スルモノデアリマス。

同時ニ夙ニ友好關係ニアル滿、「タイ」兩國竝ニ新興「ビルマ」、「フィリピン」兩國及ビ自由印度假政府

ガ、各々鞏固ナル決心ト撓マザル努力トニ依リ、大東亞戰爭及ビ大東亞建設ノ責任ヲ分擔シテ居ラル、コトニ對シ、謹ンデ最大ノ敬意ヲ表スルモノデアリマス。

中華民國ガ東亞ノ一翼トシテ、今回私ガ此ノ機會ニ於キマシテ、大東亞戰爭完遂ト大東亞建設ノ方針ニ關スル國民政府ノ決心ト努力トニ付キマシテ申述ブルコトヲ得マスルノハ、洵ニ欣快ノ至リト存ズル次第デアリマス。

中華民國ノ國父孫先生一生ノ抱負ハ、即チ中國及ビ東亞ヲシテ米英侵略勢力ノ桎梏ヲ破碎シ、其ノ獨立自主ヲ完成セシムルニ在ツタノデアリマス、斯カル抱負ニ基キ、逝去ノ日ニ至ル迄滿四十年ノ間、畢生奮闘ヲ續ケラレタノデアリマシテ、其ノ逝去ノ三ヶ月前、曾テ日本ノ神戸ニ於キマシテ二回ニ互リ演說ヲセラレマシタガ、第一回ハ民國十三年十一月二十八日デアリマシテ、其ノ説く所ハ即チ大亞細亞主義デアリマス、其ノ中ニ於テ『我々亞細亞ハ世界最古ノ文化ノ發祥地デアルニ拘ラズ最近百年以來米英ノ侵略ヲ蒙リ、漸次衰微スルニ至リ、殆ンド一トシテ完全ナル獨立國家ノ存在ヲ見ザルニ至ツタノデアルガ、其ノ衰微ガ極點ニ達シタトキ、突如其ノ轉換期ガ到來シタノデアアル、是即チ日本ノ維新デアツテ、此ノ日本ノ維新コソ、日本ガ亞細亞ニ於テ先進國タルノ原因トナツタノデアリ、同時ニ是ガ亞細亞復興ノ出發點トナツタノデアアル、亞細亞各國ハ當然先進國日本ト共ニ同心協力、東方ノ王道的文化ニ基キ、西方ノ霸道的文化ニ打勝チ、米英ノ侵略勢力ヲ完全ニ驅逐シ、亞細亞各國ノ團結ニ依リ亞細亞各國ノ獨立自主ヲ完成セシ

メナケレバナラナイノデアル、斯クノ如クニシテ始メテ克ク亞細亞全體ヲ衰微ヨリ復興ニ導クコトガ出來ルノデアル』ト謂ハレタノデアリマス。

第二回目ハ同年同月同日ノ演說デアリマシテ、ソレニハ『日本ハ當然中國ヲ援助シ不平等條約ヲ廢棄スベキデアル』ト述べラレ、又其ノ中ニ『日支兩國ハ兄弟ト同様デアリ、日本ハ嘗テ不平等條約ノ束縛ヲ受ケタル爲發奮興起シ、始メテ其ノ束縛ヲ打破シ、東方ノ先進國竝ニ世界ノ強國トナツタ、中國ハ現在、同様ニ不平等條約廢棄ヲ獲得セントシツ、アルモノデアリ、日本ノ十分ナル援助ヲ切望スルモノデアル、中國ノ解放ハ即チ東亞ノ解放デアル』ト説明セラレタノデアリマス。

以上二回ニ亙ル演說ハ國父孫先生ノ一生ヲ通ジ最後のナ演說トナツタノデアリマシテ、其ノ後國父孫先生ハ間モナク病魔ニ冒サレ、翌年三月十二日北京ニ於テ逝去セラレタノデアリマスガ、逝去ノ時ニ當リ遺囑ヲ同志ニ遺サレ、同志ハ克ク此ノ遺志ニ從ヒ繼續奮闘シ、以テ其ノ貫徹ヲ期セヨト申サレタノデアリマス、最モ不幸トスル所ハ、國父孫先生逝去後其ノ遺志未ダ實現スルコト能ハズ、日支ノ關係ハ好轉ヲ見ザリシノミナラズ、却テ日増シニ惡化シ、遂ニ民國二十六年七月事變ノ發生ヲ見ルニ至ツタコトデアリマス、正ニ國父孫先生逝去後十二年目ニ當ツテ居リマス。

此ノ時、日支ノ關係ガ決裂シタル爲、米英ハ好機到レリトナシ、挑撥離間ヲ圖リ、日支事變ノ擴大延長ヲ冀ツタノデアリマス、我等同志ハ、國父ノ遺志未ダ實現セザルヲ見、日支關係ノ日ニ惡化スルヲ見テ、

痛心其ノ極ニ達シ、絶望ノ深淵ニ陥ラントシタノデアリマシタガ、幸ヒ日本政府ハ事變ヲ最短期間ニ打切
ルベキ方針ヲ宣布セラレ、其ノ中ニ於テ、日本ノ目的トスル所ハ中國ノ滅亡ニ非ズシテ中國ノ興隆ヲ冀ヒ、
日本ハ中國ガ東亞建設ノ責任ヲ分擔スベキコトヲ期待シ、又日本ガ中國ヲ援助スベキコトヲ決心シ、其ノ
獨立自主ノ願望ヲ達成セシムルコトニ在ルコトヲ闡明セラレマシタ、我々同志ハ、日本ガ斯カル眞意ヲ宣
布セラレタルコトヲ聞キ、日支關係ノ好轉竝ニ國父ノ遺志ヲ完成セシムル希望ノ存スルコトヲ承知シタノ
デアリマシテ、之ニ依リ先ヅ重慶政權ニ對シ抗戰拋棄、和平回復ヲ勸告致シマシタガ、聽キ容レラザリ
シ爲ニ、已ムヲ得ズ重慶ヲ脫出シテ、和平運動ノ爲ニ奔走スルコトニ決シタノデアリマス、鑒テ國民政府
ハ南京ニ遷都シ、正々堂々日支提携、東亞復興ニ最大ノ努力ヲ致スコトニナツタノデアリマス。

只今申上ゲマシタ通り、米英ハ日支事變ニ對シ、常ニ挑撥離間ニ努メ、其ノ擴大延長ヲ冀ツタノデアリ
マスガ、國民政府遷都以後ハ、斯カル手段ハ更ニ強化セラレ、米英ハ重慶ニ對シ、抗戰ノ強化、和平ノ阻
止等ニ關シ有ラユル手段ヲ講ジタノデアリマス、其ノ後大東亞戰爭勃發スルニ至リ、米英ハ其ノ東亞ニ於
ケル勢力ガ挫折消失セルニ鑑ミ、益々重慶ヲ利用シテ日本ヲ牽制スルノ方途ヲ強化セルコトハ、既ニ世人
ノ俱ニ知ル事實デアリマスガ、我々ハ敢テ米英ノ斯カル計畫ガ間モナク失敗ニ歸スベキコトヲ斷定スル次
第デアリマス、何故ナラバ重慶側ノ將士及ビ民衆ハ悉ク國父孫先生ノ遺教ニ歸依シテ居ルノデアリマシテ、
本年一月九日以來、日本ハ中國ニ對シ早クモ租界ヲ還付シ、治外法權ヲ撤廢シ、殊ニ最近ニ至リ日華同盟

條約ヲ以テ日華基本條約二代へ、同時ニ各種附屬文書ヲ一切廢棄サレタノデアリマス、國父孫先生ガ提唱セラレマシタ大亞細亞主義ハ既ニ光明ヲ發見シタノデアリマス、國父孫先生ガ日本ニ對シ切望致シマシタ所ノ、中國ヲ扶ケ不平等條約ヲ廢棄スルトイフコトモ、既ニ實現セラレタノデアリマス、假令米英ガ如何ニ誘惑シ如何ニ阻止スルト雖モ、重慶側ノ覺醒ヲ阻止スルコトハ出來ナクナツタノデアリマシテ、假令一時の二之ヲ束縛シ得タトスルモ、重慶ハ他日必ズヤ、米英ニ依存スルコトハ東亞ニ反逆スルコトナリ、同時ニ國父孫先生ニ反逆スルコトナルベキヲ自覺シ、將士及ビ民衆モ亦悉ク驟然覺醒スル日ノ到來スルコトハ必定ナルベキコトヲ茲ニ斷言シ得ル次第デアリマス。

國民政府ハ、斯カル最モ重要ナル時期ニ於テ、只管既定ノ方針ニ基キ更ニ努力ヲ重ネ、一面重慶將士及ビ民衆ノ覺醒歸來ヲ促進シ、統一ヲ完成スルト共ニ、一面政治力ノ及ビ得ル地方ニ於テ一箇ノ模範地區ヲ樹立セントスルモノデアリマシテ、其ノ工作ハ次ノ三ツノ點ニ重點ヲ置クモノデアリマス、即チ第一ニハ思想ノ肅正、第二ニハ治安ノ保障、第三ニハ生産ノ増加是デアリマス、所謂思想ノ肅正トハ、米英ノ個人主義、功利主義的思想ヲ徹底的ニ一掃シ之ニ代フルニ東方道義精神ヲ以テシ、東亞人ノ自覺心ヲ以テ東亞人ノ本然ノ姿ヲ回復シ、一心一德、東亞人ノ共存共榮ノ爲に奮闘スルニ在ルノデアリマス、次ニ所謂治安ノ保障トハ、即チ中國ノ處スル所ハ、大東亞戰爭ノ後方ニ於テ須ク治安ヲ確保シ、始メテ盟邦前線將士ヲシテ後顧ノ憂ナカラシメ、之ニ依リ更ニ一步ヲ進メテ軍隊ヲ前線ニ輸送シ、些力ナリトモ盟邦將士ノ

勞苦ヲ分タントスルニ在ルノデアリマス、第三ニ所謂生産ノ増加トハ、一切ノ經濟計畫及ビ財政計畫ニ重點ヲ持タシメ、總力決戦ノ力量ヲ増加セシムルニ在ルノデアリマス、唯生産増加ト謂ヒマシテモ、事實此處ニハ消費節約、廢物利用ノ意味ヲモ其ノ中ニ包含シテ居ルノデアリマス。

以上三項ハ國民政府ガ大東亞戰爭ニ協力セントスル工作ノ重點デアリマシテ、同時ニ國民政府ガ體得致シマシタル戰爭即チ建設ノ意味ハ、戰爭中ニ在ツテ同甘共苦、同生共死ノ決心ニ基キ、東亞同胞ト東亞同志トヲ結成シ、外ハ即チ共同ノ敵米英ヲ制禦シ、其ノ侵略勢力ヲ破碎シ、其ノ侵略企圖ヲ消滅セシメ、内ハ即チ刻苦勉勵、勇往邁進ノ精神ヲ以テ、東亞同胞ト共ニ同心協力、東亞ノ建設ヲ擔當セントスルニ在ルノデアリマス。

大東亞戰爭ニ付イテ申スナラバ、我々ノ冀求スル所ハ勝利デアリマシテ、大東亞建設ニ付イテ申セバ、我々ノ冀求スル所ハ共榮デアリマス、具體的ニ申シマスナラバ、東亞各國ハ各々其ノ國ヲ自愛シ、互ニ其ノ隣國ヲ愛シ、共ニ東亞ヲ愛スベキデアリマシテ、中國ニ付イテ言ハバ我々ノ「モットー」トスル所ハ中華ノ復興、東亞ノ保衛ニ在リマシテ、之ハ中國ガ獨立自主ヲ獲得シタルトキニ始メテ東亞保衛ノ責任ヲ分擔スル能力ヲ生ジ、同時ニ東亞ノ保衛ヲ獲得シテ始メテ中國ノ自主獨立ガ保障サレルノデアリマス、ソレ故、我々ハ努力シ、以テ自己ノ國家ヲ自主獨立ノ國家タラシメ、又自國ヲ東亞ノ強力ナル分子トナスコトヲ要スルノデアリマシテ、東亞各國ハ各々其ノ本然ノ特質ヲ有スルガ故ニ、其ノ獨立自主ヲ確保シ、又互ニ其

ノ獨立自主ヲ尊重スルコトヲ要スルデアリマス、東亞各國家ハ、又其ノ共同ノ目的ヲ有スルガ故ニ、同心協力、共同ノ目的ニ向ツテ、共存共榮ヲ求ムルコトヲ要スル次第デアリマス、先進國タル日本ハ、既ニ其ノ光輝アル獨立自主ヲ世界ニ發揚サレマシタガ、最近ハ尙東亞各國ヲシテ悉ク其ノ獨立自主ヲ獲得セシメ、援助ヲ惜シマズ、一致團結セシメ、共同目的ニ向ツテ共ニ努力ヲ致スヤウセラレンコトコソ望マシキ次第デアリマス、私ハ政治上ノ獨立自主ヲ獲得セル後、若シ外交上ニ於ケル方針ガ一致シ、軍事上ニ於ケル對敵關係ガ一致スルニ於テハ、共同ノ目的ニ到達シ得ルコトハ必然デアルト考ヘル次第デアリマス。

一方、文化面ニ於テハ、先進國タル日本ガ、確力ニ自己ノ文化ヲ基礎トシ、東方文化ヲ昂揚シ、世界文化ヲ吸收スルトイフ三大要點ヲ成就サレマシタコトニ對シ、我々ハ深ク敬服致シテ居ル次第デアリマス、私ハ斯ク新興國家ガ奮闘努力、共ニ前進スルコトヲ深ク信ズル次第デアリマス、我ガ中國ハ殊ニ其ノ全力ヲ盡シ、文化ノ復興ヲ圖ルベキデアルト考ヘル次第デアリマシテ、文化ノ融合創造ハ、各民族ヲ親密ニシ、團結セシムル要素デアルト考ヘマス、例ヲ擧ゲテ申シマスト、印度ト中國トノ兩民族間ニ於テハ、嘗テ佛教ノ導入ニ依リ其ノ思想ノ交流ヲ圖リ、東方文化史上ニ一異彩ヲ放ツタノデアリマス。

又經濟上ニ於テハ、東亞各國家ハ互惠ノ基調ニ基キ、長短相補ヒ、有無相通ジ、種々雙方ヲ利便セシムル方法ヲ考ヘルベキデアリマス、之ニ付キ例ヲ申上グレバ、中國ノ棉花ハ幾多隣邦ノ需要スル所デアリ、南洋各地ノ「ガソリン」、「ゴム」、錫等モ相當隣邦ニ供給シ得ルモノデアリマシテ、我々ガ唯互助トイウ見

民國二十九年十一月三十日ヲ回顧スルニ、日滿華三國共同宣言ハ既ニ東亞大陸ニ軸心ヲ樹立シ、今日大東亞會議ニ於テハ更ニ「タイ」、「ビルマ」、「フィリピン」三國ノ參加ヲ得、印度亦陪席セラレマシテ、共榮圈ノ範圍ハ更ニ擴大セラレタノデアリマス。

以上私ノ所見ヲ開陳致シマシタガ、茲ニ更ニ至誠ヲ以テ、會議參加諸國ノ國運興隆ト、人民ノ福祉トヲ祝福スル次第デアリマス。